

副 本

平成27年(ワ)第8495号 損害賠償等請求事件

原告 出口 俊一

被告 左巻 健男

準備書面4

平成27年11月6日

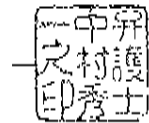
東京地方裁判所 民事第7部ほB係 御中

原告訴訟代理人

弁護士 松 村 光



同 中 村 秀



同 屋 宮 昇



原告は、以下の通り、補充して主張する。

第1 はじめに

本件は、原告に関する被告のブログ及びツイッターの記載が原告に対する名誉毀損もしくは侮辱に該当するか否かの問題であって、EMの効果に関する科学的議論とは何ら関係がない。科学的議論のある事項について互いに批判する自由があることは当然であるが、単に科学的批判にとどまらず、あるいはそれに名を借りて、批判対象者の社会的評価を低下させたり名誉感情を害したりする行為が許されないことは論を俟たない。以下、その点について原告の主張を補充するとと

もに（後記第2）、被告の行為が、被告一人にとどまらず、他のEM批判者と連携してツイート、リツイートを繰り返して広く拡散されているものであって、原告の被害が甚大なものであることを明らかにする（後記第3）。

なお、被告は、EMによるウイルス失活効果という限定的な場面に関する研究成果を取り上げて、科学上信じ難いから批判したものに過ぎないとか、EMによる水質環境改善事業を取りやめた自治体があり、その効果については近年大いに疑問が投げかけられているなどとして、そのような現状において一科学者として意見、論評したに過ぎないと主張する。EMの効果に関する科学的論争は本件とは無関係であるが、現在、国内のみならず、世界各国の政府や公的機関において広く支持されて活用されているのであって（甲10の1、2）、被告の主張はその前提を誤るものであることを念のため明らかにする（後記第4）。

第2 「やくざそのもの」という表現は原告が社会的相当性を欠く手段を用いたことを指摘するものであること

1 被告ブログの指摘する事実

被告は、被告第1準備書面6頁において、「ヤクザそのもの」という記載も「面会に当たって脅迫・威迫等の社会的相当性を欠く手段を用いているといったことまで読み取ることはできない」などと主張する。

しかしながら、被告が「ヤクザそのもの」という表現を記載した被告ブログ（甲5）には、上記の他「彼（原告）がEM批判者の自宅に押しかけたり、所属大学に圧力をかけたりしたのを知り、そこまでやるのは何かあるよね、と、比嘉照夫氏の本やウェブの記事を一生懸命読んでみた。」（同1枚目）、「何せ『ヤクザそのもの』という行為をやるわけだから」（同2枚目）、「出口俊一氏は、大学客員教授や金沢工業大学客員教授の肩書きを使って、EM批判者らに圧力をかけたりしたことを大学は知っているのだろうか」（同2枚目）と記載されている（下線は原告代理人）。

したがって、一般読者としては、被告が同ブログにおいて「ヤクザそのもの」と指摘している具体的な原告の行動の例として、原告がEM批判者に対して「自宅に押しかけたり」「大学に圧力をかけたりした」ことを読み取ることができる。

このことを前提とすれば、以下に述べるとおり、被告ブログの記載は、「EMを批判する記事を書いた著者に対して、社会的相当性を欠く行為を用いて、その記事内容を批判・攻撃し、屈服せしめようとしている」ことを意味するといふべきである。

2. 原告がEM批判者の「自宅に押しかけた」とする点について

(1) 被告は、「ヤクザそのもの」との記載に続けて「記事に対して記事による反論ではなく、著者と面会して個別撃破しようとするスタンスは、そもそもジャーナリストですらない。」(甲5)と記載しているのであるから、一般読者は、原告が、EM批判者への「自宅押しかけ」すなわち、EM批判者の意に反して自宅を訪問し、直接面会するという、ジャーナリストとしてはもとより社会的にも不相当な行為をする人物であると読み取ることができる。

そして、原告がEM批判者を「個別撃破しようとする」との記載は原告が著者を屈服させることを意味するから、結局、被告ブログは、原告は、EMを批判する記事を書いた著者に対して「自宅押しかけ」をしてその記事内容を批判・攻撃し、屈服せしめようとしており、もはやジャーナリストと呼べる者ではなく、ヤクザそのものである、との事実を摘示しているものである。

(2) なお、被告ブログにおける上記の「自宅に押しかけた」との記載は原告が平成26年6月19日、EMの批判者である松永勝彦北海道大学名誉教授の自宅を訪問したことを意味していると考えられるが、その訪問はごく平穏なものであり、資料に基づく冷静な会話がなされたに過ぎない。むしろ、原告が松永氏宅を辞去しようとする何度引き留められて会話が続けられた後、原告は松永氏に対し面会の時間を取ってくれたことに謝意を述べて別れ

ているのである。そもそも、批判的意見を主張する人物にその同意のもと直接取材して論拠を尋ねることは、ジャーナリストとして当然の行為であり、「ヤクザそのもの」の行為であるはずはない。

3 原告がEM批判者の所属する「大学に圧力をかけた」とする点について

また、被告は、「ヤクザそのもの」との記載に続けて「(EM批判者の) 所属大学に圧力をかけた」(甲5)と記載しているのであるから、一般読者は、原告が、EM批判者の所属する大学に圧力をかけるという、ジャーナリストとしてはもとより社会的に不相当な行為をする人物であると読み取ることができる。

被告は、被告第1準備書面7頁において、「原告は(中略)所属大学に対し、当該学者の不当性について意見する等していた」、「学者の研究等に批判がある場合、まずは当該学者へ直接批判を行うべきである。それにもかかわらず、所属大学に対しなされた抗議は、単に研究内容等について意見する意図のものとは考え難く、当該学者は、大学へ圧力をかけられたとすら感じていた」と主張している。

被告の上記主張は、何ら具体的事実も証拠も示すことなくなされているが、要するに、原告は、「ヤクザそのもの」の行為として、「大学に圧力をかける」という反社会的なことをする人物であると指摘しているのである。

4 小括

以上のおり、「要するにやってることはヤクザそのものである。記事に対して記事による反論ではなく、著者と面会して個別撃破しようとするスタンスは、そもそもジャーナリストですらない。」(甲5)との記載は、EM批判者に対する「自宅押しかけ」や「大学への圧力」の事実を摘示していることから、「社会的相当性を欠く行為で、EMを批判する記事を書いた著者に対して、その記事内容を批判・攻撃し、屈服せしめようとしている」との事実を摘示していることはより一層明らかである。

第3 本件ブログやツイッターは、EM及び原告に対する批判をEM批判者の間で共有化し、拡散するものであり、原告の被害が甚大であること

1 EM批判者が連携してEM及び原告に対する攻撃を繰り返していること

後記第4記載のとおり、EMは、日本のみならず世界各国で有効活用され、EMは有効なものであるとの報道がなされ続けていた。

これに対して、ごく一部にEMをニセ科学であるなどと批判する勢力が存在し、ネット等でEMやEMを正当に評価している原告に対する誹謗中傷が継続的になされている。そのメンバーは、サイエンスライターの片瀬久美子氏、breathingpower というアカウントでツイートを繰り返す添田利光氏、朝日新聞社青森支局(当時)の長野剛記者、前記松永勝彦氏、大石雅寿国立天文台准教授、菊池誠大阪大学教授、天羽優子山形大学准教授などである。

平成24年7月3日及び11日には、朝日新聞青森県版において、上記長野記者によるEM批判の記事が掲載されたが、同記者は、上記EM批判者らと密接に連携を取り合いながら、EMの開発者である比嘉照夫琉球大学名誉教授に取材しないままEMを攻撃するために報道をしているのである。これを契機として、以降、EM批判者による批判活動が活発になされるようになった。

2 本件においてもEM批判者が連携していることが窺われること

甲第2号証の被告ブログは、被告自身のツイッターのやり取りを貼りつけているものと思われるが、この中に上記 breathingpower や天羽氏による被告に同調する旨のツイートがある。

また、甲第3号証の別紙4のツイートも、「出口俊一氏は、それも信じ込む真正のおばかだと思う。普通の頭なら載せないだろう。」というものであるが、これは breathingpower のリツイートに対してなされたものである。

さらに、上記片瀬氏(甲3の別紙8及び9。例えば、甲3の別紙8であれば、「Retweets in the first 24h」の「First hour」のなかに「kumikokatase」のアカウントが記載されていることから片瀬氏がリツイートしていることが分かる。別紙9にも同様に

「kumikokatase」のアカウントの記載がある) や breathingpower (甲3の別紙2, 4, 5, 12, 13, 14。例えば, 甲3の別紙2であれば「Retweets in the first 24h」の「Third hour」のなかに「breathingpower」のアカウントが記載されていることから breathingpower がリツイートしていることが分かる。別紙4以下も同様である) は, 被告のツイートに対してリツイートしているのである。さらには, 暗黒通信団と称する人物も ANKOKUDANBOT (甲3の別紙11から13。例えば, 甲3の別紙11であれば「Retweets in the first 24h」の「First hour」のなかに「ANKOKUDANBOT」のアカウントが記載されているところ, このアカウントは暗黒通信団のものであり, これを称する人物がリツイートしていることが分かる。別紙9も同様である) なるアカウントでリツイートをしている。

なお, 被告自身が, ツイッターで「リツイートはその投稿の同意拡散になるのでリツイートしただけということと言っても通らない。」(甲23) とツイートし, リツイートはこれらのEM批判者の連携を意味するものであることを事実上認めている。

3 被害の拡大は甚大なものであること

以上のとおり, 被告ブログ及びツイートは, 被告を含むEM批判者らが連携して意図的にEM及び原告を攻撃するためにリツイート等を繰り返しているものであって, 「原告は, 社会的相当性を欠く行為で, EMを批判する記事を書いた著者に対して, その記事内容を批判・攻撃し, 屈服せしめようとしており, もはやジャーナリスト呼べる者ではなく, ヤクザそのものである」との摘示事実を広く拡散しているのである。

このようなブログやツイートが多数拡散されればされるほど, 原告の社会的評価が著しく低下し, もしくは名誉感情の侵害が強度のものになることは明らかである (さらには, 原告自身のみならず, 原告がかつて所属していた東京農工大学及び現在所属している金沢工業大学までもが, 執拗な誹謗中傷にさらされる事態となっているのである (甲24の1, 2, 甲25の1, 2))。

例えば、甲第3号証の別紙11のツイートは、暗黒通信団の記事(甲4)を引用し、「学界のトンデモ 出口俊一」「要するにやっていることはヤクザそのものである。記事に対して記事による反論ではなく、著者と面会して個別撃破しようとするスタンスは、そもそもジャーナリストですらない。」とするものであるが、ANKOKUDANBOTをはじめ19名にリツイートされている。そして、被告のフォロワー5691名とリツイートした人のフォロワー数を合計したポテンシャルリーチ数1万9376名を合計すると、累計2万5067名に伝播したこととなるのである。

このような本件の各ツイートにおける被告のフォロワー数とポテンシャルリーチ数(別紙のとおり)の総合計は実に累計19万2806名(甲3)にも及んでいるのであり、これは、例えば週刊朝日の公称発行部数(18万4148部)を超えるものとなっており、原告の社会的評価の著しい低下及び強度の名誉感情侵害は明らかである。

第4 EMの効用が世界的に認められていること

1 EMは、それを使用している者がその効用を実感し認めている事実があり、学術機関・研究機関においても研究が進められ、今やEMは世界各国に広がり、現在では数多くの国でEMが使用されている(甲10の1, 2)。

平成27年6月現在では、EM製造国56か国、販売国106か国、使用国118か国に及んでおり(甲10の2)、その科学的根拠についても数多の民間レベル(甲11及び甲12)や国家レベル(甲19の1ないし甲20の2)の論文等が公表されているところである。

2 このようにEMの効用については世界的に認められ、学会でも多数を形成する現状にあるところであり、被告の指摘は、未だ科学的にその説明が難しく、研究途上にある極めて限定的な場面に関する議論を針小棒大に述べているにすぎず、本件とは全く関係がない。

それにもかかわらず、EMを批判する者や一部の無理解者は、EMは非科学的である、EMには全く効用がなく、その点が公知の事実であるかのような論調を展開し、今般の被告のように、「出口俊一氏は、それも信じ込む真正のおバカだと思う。普通の頭なら載せないだろう。」「※あまりにも酷い出口俊一氏のEM擁護。嘲笑するしかない超低レベル。」などという誹謗中傷、人格侵害行為にまで及んでいるのである。

- 3 以上のおり、EMは、現在、国内のみならず、世界各国の政府や公的機関において広く支持されて活用されているのであって、被告の主張はその前提を誤るものであることは明らかである。

以 上

別紙

甲3の別紙	リツイートアカウント	被告のフォロワー とポテンシャルリ ーチの合計数
1	ai8652	6086
2	nazomekuN Kleiner_meister breathingpower	7567
3	miyurao polarbear_rx8 maisels tukinowakoguma madfall1213 xixgo	8899
4		5691
5	breathingpower mig_tadoku	7650
6	hiroharu_minami madfall1213	6658
7	mig_tadoku mayabashimusume nakanoi_miaki nekotetumamori	8599
8	y_y6181 k_soraku	29275

	G_G_ Sobayall ruribitaki6 kumikokatase jsdf43wtr Micheletto_D monmon2236 gonbei8823 mig_tadoku	
9	zen_chip 55_kaede_55 tukinowaguma fukushimanohito sugigoke kumikokatase maisels becky_of_ssr kazushi_ Khacharurian sidvicious_noel rakugodesi beerlove_ryo tatsuva	35344
10	yshinjing Lebesgue2718	7825

1 1	m_yas1028 ANKOKUDANBOT motakahashi moscow_91 maisels toropicari hanpa64 XC60Rd_ SHINO 01023000108 mtcedar1972 fish_pel teracy apj higekital tbs_i com_zzzz kamosawa r9mala	25067
1 2	mizubasyo3004 rm_rf_orz breathingpower feelhappy ANKOKUDANBOT Higuma_saikyo	11488

	1969KANKODO zuruke	
1 3	XC60Rd_ ANKOKUDANBOT mo0210 mazda_h rm_rf_orz hirokiharoki breathingpower kenkou_pan mzkmzk	10339
1 4	breathingpower	7113
1 5	miyurao miyalocked Micheletto_d mmasao Lebesgue2718 saltoryuzo jsdfq43wtr	15205